

記載例： 非嫡出子、出生後認知(日本人母、外国人父が戸籍上婚姻していない場合)

出生届

窓口届出日、または投函日

令和 8 年 5 月 1 日 届出

- ❖ 鉛筆、シャープペンや消えやすいインクで書かないでください。
- ❖ 記載した文字などを訂正・加筆・削除するときは、修正液、修正テープ等は使用せず、誤字に二重線を引き、訂正削除してください。

記入の注意

- 届書はすべて日本語で書いてください。また鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。
- 子が生まれた日からかぞえて3か月以内に出生地の大使館または、(総)領事館に出してください。
- 外国で生まれ、出生によって外国籍をも取得した子について

出生証明書

子の氏名	男女	1男	2女
生まれたとき	令和 8 年 4 月 3 日	午前	午後
生まれたところ	フランス国ローヌ県リヨン市第4区クロワルース大通り1番地		
住所	フランス国ローヌ県リヨン市第10区パリ通り1番地		
父母の氏名	父 外務 花子	母 外務 花子	
生年月日	令和 8 年 4 月 3 日	平成 2 年 3 月 23 日	
本籍及び	東京都千代田区霞が関二丁目2番地		
戸籍筆頭者の方の氏名	外務 ○○	父の国籍	母の国籍
同居を始めたとき	年 月 日		
子が生まれたときの世帯のおもな仕事と	□1. 農業だけまたは農業とその他の仕事 □2. 自由業・商工業・サービス業等を営む □3. 企業・個人商店等(官公庁は除く) □4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯 □5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 □6. 仕事をしている者のいない世帯		
父母の職業	父の職業	母の職業	
その他	日本国籍を留保する	署名	印
届出人	住所	本籍	署名

フランスで出生したお子様の出生届出には、こちらは記入不要です。

出生証明書記入の注意

- 夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。
- 出生証明書(11)欄の体重及び身長は、立会者が医師又は助産婦以外の者で、わからなければ書かなくてもかまいません。
- 出生証明書(14)欄のこの母の出産した子の数は、当該母又は家人などから聞いて書いてください。
- この出生証明書の作成者の順序は、この出生の立会者が例えば医師・助産婦とともに立会った場合には医師が書くように1. 2. 3. の順序に従って書いてください。

「生まれたところ」「住所」は、acte de naissanceに記載されている出生地(通常病院の住所)を日本語で記入ください。出生地・住所には「=」「・」等記号は使用しないで下さい。戸籍に記載されません。

本籍地には「-」は使わず、戸籍通りにご記入ください。
× 2-3
○ 二丁目3番地

※ご注意
お子様の名については、フランスの出生証明書の名前と日本側へ届け出る名前(戸籍に記載する名前)が異なる場合には、出生届の「その他」欄に次のようにお書きいただく必要があります。
(例)仏側の出生証明書の名は、「アンリ太郎ロマン」と記載されているが、日本側には「アンリ太郎」と届け出る。

- 届書は2通出してください。
- 日本国籍を留保し重国籍となった者は20才までに日本国籍を放棄する旨の届書を出してください。

自筆で戸籍の記載通りに署名ください。

1, rue de Paris, 69000 Lyon
TEL. 06 00 00 00 00

Email : gaimuhanako@todokede.com

フランス国内の現住所、日中ご連絡可能な電話番号、及びEメールを記入ください